

# 平成26年度 第1回八尾市産業振興会議 議事録

日 時	平成26年7月7日（月）午前10時00分～11時30分
場 所	八尾商工会議所会館 3階 大ホール1
出席者	<p>&lt;委員&gt; 樫本委員、片伯部委員、加藤志津子委員（商）、加藤光子委員（商）、川江委員（商）、須山委員、高橋委員（商）、田中委員（工）、寺西委員（商）、中浜委員、野田委員、林委員（商）、藤岡委員（商）、藤原委員（工）、文能委員（工）、村本委員（工）、森嶋委員（工）、山本委員 ※（工）工業部会委員、（商）商業部会委員 <u>計18名</u></p> <p>&lt;事務局&gt; 村上部長、馬場次長、太田課長、小谷参事、徳光室長、市川課長補佐、阪口係長、主井係長、後藤係長、松尾副主査、（有）協働研究所 東、同 本池 <u>計12名</u></p> <p>&lt;オブザーバー&gt; 八尾商工会議所・川野課長 <u>計1名</u> <u>総計31名</u></p>

－事務局による司会で次第に沿って進行－

## 1. 開 会

## 2. 委嘱状交付

## 3. 八尾市長あいさつ

## 4. 委員紹介及び事務局紹介

- ・事務局より、産業振興会議委員19名のうち、出席者17名、欠席者1名（1名が遅れて出席）であり、八尾市産業振興会議規則第3条に規定する過半数の委員の出席により、会議が成立している旨の報告。

## 5. 座長選任、副座長指名

- ・八尾市産業振興会議規則第2条第1項に基づき、座長に文能委員を選任するとともに、座長の文能委員より、藤岡委員を副座長に指名。両委員よりあいさつ。

## 6. 議 事

－座長による議事進行－

### （1）産業振興会議の仕組みと本年度の進め方について

- ・事務局より、資料1、資料2に沿って市の産業振興、及び平成26年度の産業振興会議の進め方について説明。

### （2）工業振興部会、商業振興部会について

- ・事務局より、資料3、資料4に沿って平成26・27年度の産業振興会議検討スケジュール、工業振興部会、商業振興部会について説明。
- ・八尾市産業振興会議規則第5条に基づき、座長の文能委員より、資料5の委員名簿の「部会」欄に○印のある委員を部会委員に指名。また工業部会長については文能委員、商業部会長については藤岡委員を指名。

### (3) その他報告事項について

- ・資料6、資料7について事務局より説明。また資料8に沿って調査結果から見えてきた課題について説明。

#### 【質疑応答・意見交換】

座長：産振会議が始まった当初は、全国に比べて八尾市の産業施策が遅れていたのが実情。その後、会議を重ねてきて様々な施策を実現してきた結果、今は全国の平均より上のレベルになった。八尾らしいまちづくりを目指して、「製造業実態調査」、「小売業・飲食業・サービス業の状況調査」をもとに、更に八尾を良くするための施策づくりを進めたい。

委員：調査からもわかるように、経済は今後縮小の見通しで、後継者問題もある。これは八尾だけでなく全国的に同じ課題を抱えている。これをどう好転させるか。部会にてこれらの問題について議論を深めていきたい。自社の強みを深めるための議論が大事なのかもしれない。どこかの段階で両部会の交流の場を持ち、議論を融合していきたい。

事務局：それぞれの部会で議論を深めて、どこかの段階で各部会の議論内容を合わせる場を作りたい。

委員：工業部会委員は全員男性で製造業の業種の人ばかり。議論を深めることはできるが、部会に入っていない委員にどこかの段階で工業部会に入ってもらい、新鮮な意見をいただけたら嬉しい。

事務局：今後、部会以外にも状況に応じて、勉強会や両部会の議論を交わす場等を設けたい。

委員：今回の産業振興会議は、商工それぞれの部会に分かれることになっている。商業は物を直接販売し、物を作る工業とは基本が違う。しかしそれぞれの意見は聞いておきたい。お互いの部会にオブザーバーとして参加するというのはどうか。

事務局：今後の状況を見ながら、それぞれの部会の開催日時を皆さまに案内するので、お互いの部会にて意見を言っていただくというのはどうか。

委員：案内は希望者だけでもいいかもしれない。

事務局：では部会の冒頭に、片方の部会の内容報告を行うようにする。必要があれば次回の部会の実施日を案内する。

委員：スケジュールが合って行けるようなら、是非片方の部会にも出席したい。

座長：他に意見がなければ、事務局から説明があった資料8の調査結果から見えてきた課題とそれ以外の視点もあわせて、今年度については工業振興部会では「製造業実態調査」、商業振興部会については「小売業・飲食業・サービス業の状況調査」の結果を踏まえて議論を深めていくことをそれぞれの部会に付託したいと思う。

資料6-2 15ページ～16ページ「産業教育映像DVD活用状況等調査」について、このDVDは、小中学生やその親御さん達に八尾の産業の良さを知ってもらい、将来の就職先の選択肢となるような親しみを感じてもらうことを目的としたもの。授業での活用を期待したが、結果は寂しい数値。産業振興は八尾市全体で考えなければならない。DVDの第2・3弾を作成したいが、この利用率では、お金の無駄になってしまう。今後、教育現場の理解を得て、より利用促進を図ってもらいたい。

委員：昨年度の産振会議の勉強会で、大阪府のものづくり支援課の職員が講演をさせていただいたとのこと。大阪府には、ものづくり支援課がある東大阪の「MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）」をはじめ、大阪府立産業技術総合研究所や、労働分野でも「OSAKAしごとフィールド」、高等職業技術専門学校など、様々な機関・セクションがある。特に最近では、中小企業における人材不足等が課題となっているため、商工と労働セクションが連携して産業人材の育成に向けた取組みを推進しているので八尾市さんとは、今後も様々な場面で、府の産業・労働セクションが連携させ

ていただけたらと思う。

座 長：委員はそれぞれの立場で様々なネットワークを持っているので、八尾市の産業振興にも活用していければと思う。

#### 7. 経済環境部長あいさつ

#### 8. 閉 会

以上